



学校だより

令和2年2月12日 上田市立第二中学校 No.12

「明倫堂学則から二中の原点を学ぶ」～校長講話より～

新年を迎えるに当たり、校長先生から「明倫堂学則」についてお話をいただきました。

第二中学校の礎となる上田藩文武学校は、1813年（文化10年）「明倫堂」の扁額を掲げて開校します。藩主松平忠優（ただます）公から頭取（現在の校長）に任命された山田司馬助（しばのすけ）先生は、「明倫堂」にて学ぶ心構えを、2年をかけて「明倫堂学則」として書き上げられました。



藩主 忠学侯が揮毫した「明倫堂」の扁額

そこには、以下のような心構えが示されています。

涵養（かんよう）・敬を主とし、以てその本を立て

「生まれながらに持っている『良い心』を大切に育てる」ということ。

致知（ちち）・・・理を窮めて、以てその知ることを致して

「問いを持ち、徹底的に追究をする」ということ。

力行（りきぎょう）・躬に返って、以てその実を践む

「自分の持っている『良い心』を生活の中に生かそうと実践する」ということ。

その後、昭和52年に「涵養」は「敬愛」へ、「致知」は「窮理」へ、「力行」は「実践」へと言葉をわかりやすく変えて、上田第二中学校の学校教育目標となって今の私たちに引き継がれています。

○「涵養」～「敬愛」の姿～

人間は誰もが、「良い心」をもっていますが、喜怒哀楽の感情の中でそれを素直に表すことができなくなり、隠れてしまうこともあります。司馬助先生は、「隠れてしまうのがわかるのは自分だけ。だから自分自身が常に自分の心を見つめ、恥ずかしくない行動をとろうと戒めることが大切」と示し、これを「独りを慎む」という言葉で表しています。『「良い心」とは、『相手を敬う心』であり、何をすれば相手が喜ぶだろうかと想像し、その行動を生活の中で行なおうと心がける、この心がけが『涵養』の心を育てることになる」と示されます。私たちは今、この言葉を「敬愛」に変えて、受け継いでいます。

二中伝統の「相手がお辞儀し終えたのを見届けてから、返礼をすること」、これも「私はあなたを大切に思っています」という相手を敬う心を具体的な姿で表した二中らしい姿だと感心しています。

○「致知」～「窮理」の姿～

司馬助先生は「全ての人や物に存在する『意味』と『働き』がある。その働きを徹底的に追究し、調べることで、その意味が分かり、それを活かす方向がはっきりしてくる」と示されます。

80年前にマジックテープを開発したジョルジュも、山奥の狩猟で衣服にまとわりつくヤマゴボウの実の構造を明らかにし、その構造を利用してマジックテープを発明しました。一見自分にとって不都合な「人」や「物」を徹底的に追究し、その「人」や「物」を活かす、これが「窮理」であり、私たちが今も求めている学びの方向です。昨年12月に、3年生の皆さんが台風19号で被災された北信地区の現状を様々な角度から追究し、自分達にできることを考えた結果、「募金活動」を展開して20数万円の募金を集めました。働きを徹底的に調べて活かしていくのかを追究する、まさに「窮理」の姿と考えます。

○「力行」～「実践」の姿～

司馬助先生は「自分では大切だと知っていても、行動できなければ、何のために学んだのか意味がない。自分が置かれている立場で、なすべきことを考えて行動することが重要だ」と示されています。

生徒会を新しく引き継いだ2年生の皆さんは、立会演説会の際に『「明倫の心」を日常生活の中で実行できるようにする』ことを述べてくれました。まさにこれが「実践」のあり方なのだと思います。「明倫大賞を取るから頑張る」「チェックがあるから直す」という段階から、「良いと思うこと」「正しいと思うこと」だから行動していく、それが「実践」のあり方だと思います。

○どのように取り組んでいくのか

司馬助先生は、『「涵養」を心がけ、その上で『致知』し、次に『力行』する。『涵養』が十分できていないから、『致知』はしないというものではない。常に三つを同時に行うことが重要だ』とされています。

『涵養』を基盤にして、三つを同時に行っていくことが重要なことがわかるような気がします。

司馬助先生が求められた明倫堂の「学ぶ基盤」は、明倫堂から第二中学校と名前を変えても、脈々と皆さんの姿に受け継がれています。

皆さんの「良い心」を生かしていくために、今自分ではできない、わからないことから「問い」をもち、徹底的に追究して実行していく、そんな学び合う学校を、生徒の皆さんと先生方と創っていきましょう。

そんな学校こそが、上田市立第二中学校なのだと思います。

「中学校説明会」～新入生のために、1年生が新たな先輩として～

来年度二中に入学する小学校6年生に向けて、中学校説明会が1月27日（月）に行われました。新入生に、二中のイメージを具体的にもってもらい、入学したいという気持ちを高めてもらおうと、1年生が話し合いやリハーサルを積み重ねてきました。

当日は大切にしている校歌で迎え、クラス毎に二中の様子を劇にして力強く表現してくれました。劇の中でクイズを織り交ぜながら、テンポよく6年生に二中の姿を示してくれました。また、最後に歌ってくれた「地球星歌」が体育館いっぱいに響き渡り、来年度から先輩と呼ばれるにふさわしい姿で説明会を成功させてくれました。

本当にありがとうございました。



体育館に響き渡った1年生の「地球賛歌」

「修学旅行の準備を着々と」～お互いの願いや意見を尊重しながら～

2年生は修学旅行まで、あと2ヶ月程となりました。各クラスでは、班別行動のコースについてPC教室や旅行雑誌などから調べてイメージを膨らませ、どのように目的地を組み合わせていけばよいのか話を進めています。また、宿での部屋割りや食事について係会を中心として具体的に決めだしています。特に、班のテーマを大切にしながら、互いの意見や願いを繋いで、皆が納得できるように心がけている点が素晴らしいです。2年生の”紡ぐ”からは、皆が楽しく、思い出に残る修学旅行にしたいという思いが感じられます。その思いをぜひ実現させてく^{ださい}に沿い、熱心に話し合う2年生



「自分自身と向き合う3年生」～目標に向かって、今を大切に～

3年生は、私立高校の入試が続いています。これまで自分自身と向き合いながら学習を進めてきましたが、公立前期選抜試験を経て、あと約1ヶ月後には後期選抜試験を迎えます。苦手な部分を克服しようと努力したり、自信をもって本番に臨もうと生活リズムを意識して生活したりして、3年生一人一人が自分の目標に向かって一日を大切に過ごしています。

体調管理にも注意しながら、これまでの努力の成果が遺憾なく発揮できるように、今を大切にがんばり抜いてください。応援しています。



真剣に面接練習に打ち込む3年生

☆☆☆今後の予定☆☆☆

- 2月 12日（水）公立前期選抜試験②
- 13日（木）3学期期末テスト
- 14日（金）3学期期末テスト
- 17日（月）学年費引落日
- 18日（火）公立前期選抜合格発表
- 20日（木）地区生徒会④
- 23日（日）天皇誕生日
- 24日（月）振替休日
- 25日（火）公立後期志願受付～27日
- 28日（金）公立後期志願変更～3/4
- 3月 6日（月）3年生二中同窓会入会式
- 7日（土）地区活動優先日・ノー部活デー
- 10日（火）公立後期選抜① 1・2年生クラスマッチ
- 11日（水）公立後期選抜②
- 13日（金）3年生を送る会
- 16日（月）3学期終業式
- 17日（火）第73回上田市立第二中学校卒業証書授与式



学校ではマスクを着用しています

インフルエンザが広がり、先月末には二中でも学級閉鎖がありました。

先週は二中でも「インフルエンザ予防週間」として、手洗い・うがい・教室の換気を、全校で実施してきました。

すでに入試が始まっていますが、二中全体で予防に取り組んでいます。

ご家庭でもご協力をお願いいたします。